

B UND ONEが提供する在宅支援

実際の支援事例から見える価値

※本作は実際の支援事例をもとに構成しています

1

在宅支援に不安の声

支援の質や効果を問う

昨今、障害福祉の在宅支援は厳しい視線で語られることがある

制度の狭間で取り残される人たち
現場の負担増も課題に

在宅支援の実態は？
自治体ごとに差も

福祉サービス
見直しの議論広がる

2

しかし、事実としてメンバーに起きた変化があります

B UND ONE

— ともに、働く未来へ。 —

B UND ONE
管理者（メンバー）

3

PC無償貸与

メタバースオフィス

朝の確認

相談

仕事

メンバー一人ひとりに合わせた支援で、「できること」を「できる形」に。

4

働く入口をつくる支援

在宅支援は、家に留める支援ではない



指定障がい者就労継続支援B型
B UND ONE

理念

誰かの力になれる人を育む

ビジョン

一人ひとりの可能性が、
社会に価値として届く未来へ。

事例1 通所ができるようになった方

1 B UND ONEの通所で利用開始

午後2時間の利用でも、最終的には来られなくなっていた



2 B UND ONEの在宅支援へ切り替え

メンバー本人に合う形として、B UND ONEの在宅支援へ切り替えた



3 ほぼ毎日参加できるようになった



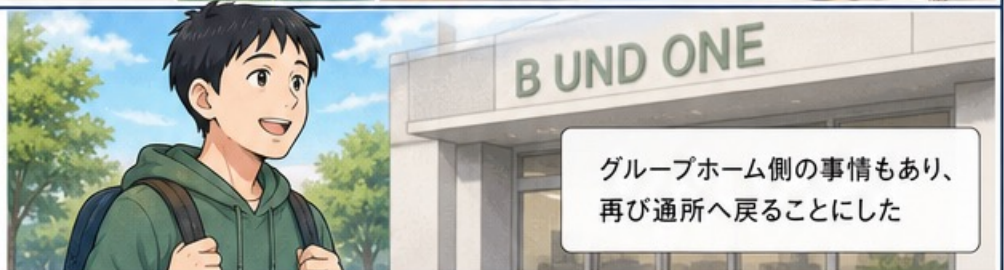
4 その状態が約2年間続いた

安心して続けられ、生活や体調も安定していった



5 その後、再びB UND ONEの通所へ戻った

グループホーム側の事情もあり、再び通所へ戻ることにした



在宅支援は、通所の代替にとどまらず、働くリズムを取り戻し、再び通所できる状態へつながった

事例2 人とのコミュニケーションの土台が作れた方

- 1** 以前は日中に外へ出る機会がほとんどなく、人との接点も少ない。買い物も家族に頼る生活。

外に出る機会が少なく、人との接点もほとんどなかった



- 2** 最初の説明段階でも、会うこと自体が難しい状態。

説明の段階でも、会うことに大きなハードルがあった



- 3** BUND ONEの在宅支援開始後、Windows 11ノートPCでメタバースオフィスにログイン。オンライン会議機能でサポーターとやり取り。



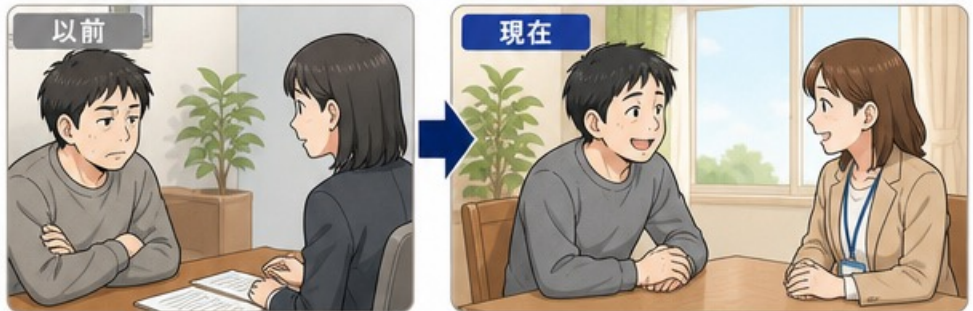
- 4** 出勤率だけでなく、日々の中で2~4回ほど顔を合わせて会話する機会がある。

日々の中で、複数回の会話が生まれた



- 5** 以前は険しい表情で話していたが、新しい相談員にも普通に接し、話ができるようになった。

小さな関わりの積み重ねが、コミュニケーションの土台になった



在宅支援は、家に閉じこもる支援ではない。
人と関わる機会を日常の中に作り、会話の土台を育てる支援である

事例3 続けられる事業所を見つけられた方

1 周囲から悪口を言われているように感じてしまい、

就労継続支援B型事業所を数多く利用しても、長くて1か月程度しか続かなかった

就労継続支援B型事業所を数多く利用しても、継続は難しかった

1か月も続かないことがあり、長くて1か月程度だった

また悪口を言われているかも

自分のことをバカにしている…

ここも合わないかもしれない…

就労継続支援B型事業所を数多く利用したが…



長くて1か月程度しか続かなかった

2 BUND ONEの在宅支援を開始



対人ストレスを減らしながら、家で仕事に取り組む

3 本人自身が、継続できている実感を持った



こんなに長く1か所で続けられたのは初めてです

4 在宅支援の利用後、デイケアも週1回通えるようになった

以前は月1～2回程度だった

以前 (在宅支援の利用前)

デイケアの通院回数						
月	火	水	木	金	日	
	○				○	

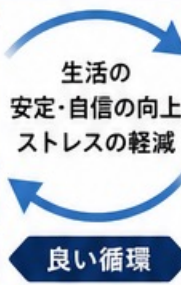
月1～2回程度

在宅支援の利用後

デイケアの通院回数						
月	火	水	木	金	土	日
	○					

週1回普通に通えるようになった

5 仕事の継続と外部活動の継続がつながっている

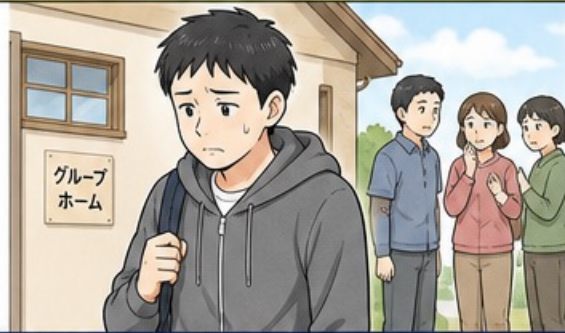


BUND ONEの在宅支援は、仕事の継続だけでなく、外部のデイケア参加にも良い影響をもたらした

事例4 生活リズムが整ってきた方

1

以前利用していた場所では、周囲の目が気になり、グループホームから朝起きて出ることが難しかった。



以前は、周囲の目が気になり、朝起きて出ることが難しかった

2

BUND ONEの在宅支援を使う前は、ほとんど1日寝て過ごすことも多かった。



在宅支援を使う前は、1日寝て過ごすことも多かった

3

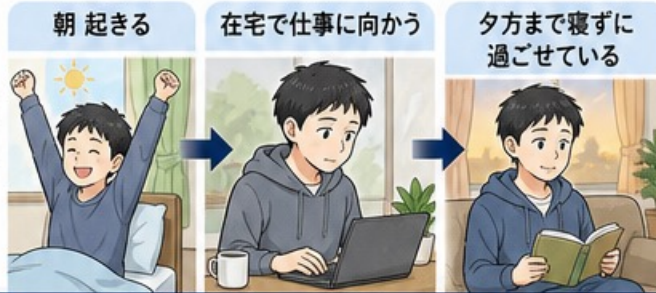
在宅支援の利用開始後、休みがちな面はあっても、グループホーム管理者からは以前より利用率が良いという評価がある。



休みがちな面はあっても、以前より利用率は良くなった

4

参加できている日は、朝起きて、在宅で仕事に向かい、夕方まで寝ずに過ごしている。



参加できている日は、朝起きて日中に活動し、夕方まで起きていられる

5

買い物も以前は月1~2回程度だったが、現在は週1回程度、自分から「ここへ行きたいです」と伝えられるようになった。



月1~2回程度だった買い物が、**週1回程度**に

外出にも変化が生まれた

在宅支援は、仕事の間を作るだけでなく、生活リズムを整え、生活全体の動きにも変化を生んだ

事例5 継続して働ける形が見つかった方

- 1** 通所型事業所へ
行こうとはしていたが、
駐車場までは行けても
「今日は休みます」と
言って帰ってしまう

駐車場までは行けても、
そこで帰ってしまっていた

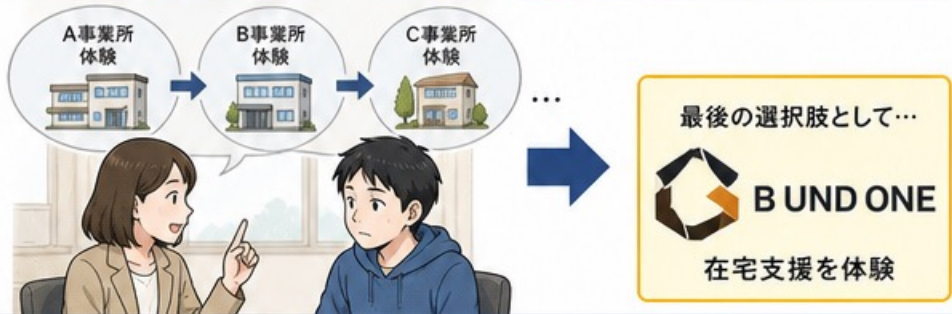


- 2** 事業所内で他の人の
作業を見ると、
自分より早くできる人と
比べてしまい、
つらくなる背景

他の人と比べてしまい、
行けなくなっていた



- 3** 計画相談として
いくつもの体験を
設定してきたが、
なかなかつながらず、
最後の選択肢として
BUND ONEの
在宅支援を試す



- 4** 体験段階でも
キャンセルが
心配されたが、
実際にはしっかり
体験でき、
その後も利用が続いた

	月	火	水	木	金
1週目	○	○	○	○	○
2週目	○	○	○	○	○
3週目	○	○	○	○	○
4週目	○	○	○	○	○

体験でき、
その後も
利用が続いた!

- 5** 現在は週4日の約束に
対して週4日
参加できている。
相談支援事業所の
担当者も驚き、
喜んでいる

週4日の約束どおり 参加できている

これまでどこの事業所でも
1か月以上続かなかった方が、
1か月以上ほぼ毎日
出勤できている

1か月の参加状況

	月	火	水	木	金
1週目	○	○	○	○	○
2週目	○	○	○	○	○
3週目	○	○	○	○	○
4週目	○	○	○	○	○



本人に合った環境なら、これまで続かなかった人にも
「継続できる経験」をつくることできる

事例6 在宅でなら継続して働くことができた方

- 1 A型事業所などで
就労していたが、
対人ストレスで
通えなくなった



- 2 グループホームから
出られず、
出られても
夜だけだった



- 3 仕事の時間になると、
冷や汗や動悸が出て、
部屋から出られなく
なった



- 4 BUND ONEの
在宅では、毎日
しっかり取り組めた



- 5 遊びのときは
外に出られても、
「職場」には行けない
という特性がある一方で、
在宅という形なら、
仕事を継続できた



「職場に行けないから働けない」で終わらせず、
その人に合った形で仕事を続けられる支援になった

事例7 次の通所先につながった方

- 1** これまで家から出られず、
通所もできない状態


家から出られず、
通所もできなかった





- 2** BUND ONEの在宅支援が、
働くこと・人と関わること・
支援を受けることの
最初の入口になる

BUND ONEの在宅支援が、
最初の入口になった



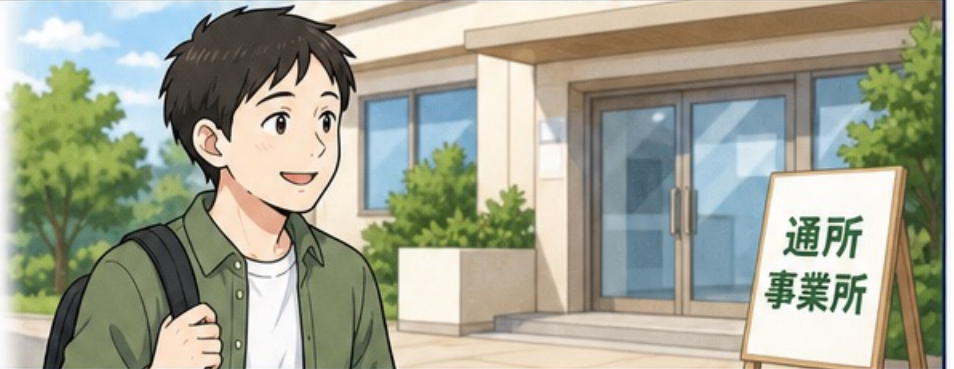
 働くことの
きっかけに

 人と関わることの
きっかけに

 支援を受けることの
きっかけに

- 3** その後、別の場所へ
通所できるようになった

その後、別の場所への
通所につながった



- 4** 紹介元の病院が
報告を受け、
感謝を伝える



家から出られず
通所もできなかった方が、
通えるようになったのは、
そちらのおかげです



在宅支援は、在宅に留めるためのものではなく、
次の一歩へつなぐ支援として機能することがある

効果事例から見える 在宅支援の価値

1



継続できる

続かなかった方が、
続けられるようになる



2



生活リズムが整う

朝起きて、日中に活動し、
夕方まで起きていられる
軸ができる



3



関わりが生まれる

サポーターとの定期的な
会話が、人との接点になる



4



生活全体に広がる

デイケアや買い物など、
外部活動にも良い変化が出る



5



次の場所につながる

通所復帰や、別の通所先への
移行につながる事例がある



在宅支援は、
社会とつながる入口になる



B UND ONE は、事実に基づく支援の積み重ねを大切にしています

BUND ONE の在宅支援環境

在宅でも、リアルな職場に近い支援と安全体制を整えています



BUND ONEの
在宅支援が
うまく機能する
理由

1 PCを無償貸与

メンバー全員に、
Windows 11・
セキュリティソフト完備の
PCを1台無償で
貸し出しています



Windows 11

2 メタバースオフィス環境

メンバー全員に、
PCで操作する
メタバースオフィス環境が
あります



3 いつでも質問・相談できる

メタバースオフィスでは、
サポーターにいつでも
質問したり、
話しかけたりできます



4 サポーターが近くにいる感覚

いつでもサポーターが
待機していて、
リアルな職場に近い
環境をつくっています



5 訓練ではなく仕事

提供しているのは
訓練ではなく、
仕事としての作業です



仕事例



データ入力

文字起こし

リサーチ

動画編集

デザイン

6 1日2~4回、顔を合わせて会話

毎日、カメラ越しに
サポーターと顔を合わせ、
1日あたり2~4回は
会話する機会があります

1日
2~4回



会話の例

10:00	朝のあいさつ・確認
11:30	作業の相談
14:00	進捗の共有
16:00	振り返り・報告

7 メンバー同士のトラブルがない

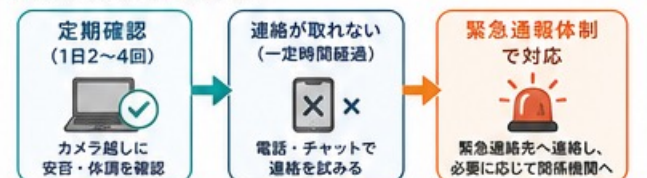
通所スタイルの仕事環境と違い、
在宅ではメンバー同士の
トラブルはありません

- ✓ 静かで集中できる環境
- ✓ 余計な人間関係のストレスがない
- ✓ 自分のペースで働ける



8 緊急時の確認体制

通所では現場対応マニュアルがあり、
在宅でも定期確認と緊急通報体制を
整えています。確認できないメンバーには
緊急通報体制で対応します



環境・関わり・仕事・安全体制がそろうことで、
在宅支援が「続けられる働き方」になっていく

